京城日報
朝刊　朝夕刊共八頁
本紙定價一部金六錢　一箇月金一圓廿錢　郵税一箇月金十五錢　外國送り郵税共一箇月金四圓
廣告掲載料　五號十五字詰一行金一圓五十錢　場所指定料（一行毎に）金二十錢以上増

社説　神宮體育大會

第十七回朝鮮神宮奉贊體育大會は、けふ十月廿一日の參加者神宮參拜の體育行進に始まり、廿六日の閉會式を以て終ることになつてゐるが、今回の大會が朝鮮神宮御祭神に對する神事奉仕であると共に、半島體育運動最高の行事であることは從前と少しも變りはないとしても、職域下體育の本義に即する半島最高の氣魄と、それによる國民的意氣の昂揚とに重點を置き、いはゆる戰闘精神の錬成、國體訓練の強化、體力の増強、國防的各種技能の錬磨を目標に、皇國臣民としての總力練磨を形造るべきところに、從來と異る一段の飛躍があることを特筆すべきである。

◇

從來の體育大會は、やゝもすれば記錄萬能の勝敗にとらはれ易かつたのであるが、その弊から脱却して、新しき民族的團結のもとに、國民をして臨戰對應の高度信念に燃え立たしむべき機會こそ、正にこの奉贊體育大會であることを再思三省すべきである。それは即ち演技する者、審判する者、觀覽する者すべての上に課せられたる光榮ある責務であるとさへいひ得るであらう。

◇

思へばパリにおけるオリムピツク大會直後の會議において職位判定をめぐる英米の對立があり、米は卽ち映寫機と秒時計とによる器械力に賴らんとし、英は一切を審判員の認定に委ねるべきを主張したが、一は明かに人よりも器械を重しと見る唯物主義、一は寧ろそれを護まんとする精神主義と見えたにも拘らず、今次歐洲戰にも見るが如く利害の前には兩者野合して恥なき醜體であり、そのいはゆる運動家精神なるものも、實は運動競技を享樂的に、生活とは遊離せる別世界のものとして觀念してゐたところに破綻が胚胎してゐたと見ることが出來る。

◇

運動家精神といふものが、しかく遊戯的であり融通自在なものである限り、われ等はこれを潔しとせぬ。否、既に演技である以上、それは飽まで勝たねばならぬ行動であり不敗よりも必勝、斃れて後已むの武士道精神そのものでなければならぬ。即ち、この個人の勝敗よりは職域の安危に重きを置き、一致團結する總力の勝敗なるものは、器械よりも人よりも寧ろ訓練から生れ出づべきものだからである。

◇

今回の大會において、この總力體制の眞價を發揚すべく、集團錬成を目指して戰正修道の體操生活を行はしむることになつたのも、また實にこゝに目的を置いたものと見るべく、海洋體技、集團體操その他の新種目をも加へて、眞の綜合體育祭典たらしめると共に、産業從業員による厚生體育體技をも加へて、生産部門の訓練に乘り出したのも、臨戰下らしい運營である。

◇

希くは今回の大會をして、參加者と否とを問はず、眞に職場にある勇士の氣魄と體讓とを以て神宮に奉納して恥なき大會たらしめると共に、ますく戰力增殖の一翼たらしめることを最大の念願とせねばならぬ。

三笠宮殿下　御婚儀をお間近に控へ陸大の長途乘馬演習に御參加の殿下＝御寫眞は去る十六日二子玉川附近にて謹寫＝謹電送

皇室の彌榮
三笠宮殿下の御婚儀
愈よあす、宮中賢所大前で御擧式

【東京電話】三笠宮殿下と高木百合子姫の晴の御婚儀はいよく明廿二日午前九時宮中賢所大前において擧げさせられる　三陛下の御慶びのほど拜察するだに畏さ極みであるが、皇室の彌榮を御慶祝申上げつゝ萬民ひとしくお待ち申上げる佳辰、三笠宮殿下には御束帶を召させられ午前八時十五分御出門、百合子姫には同時刻小袿長袴、蘇たけき姿で高尾御用取扱が御守刀高木家傳來の左安吉の名刀を持して陪乘、青山高樹町の邸を出門、自動車　鹵簿で三笠宮殿下を御先きに二重橋正門から參內される、百合子姫には參內と同時に妃宮殿下の御身位となられるがかくて、兩殿下には室町掌典御先導申上げて、午前九時賢所大前に御參進御拜禮、三笠宮殿下御告文を奏せられた後、同九時五分頃三條掌典長ならびに掌典が奉仕して、兩殿下神杯を交はさせられる、この時櫻田門内で發射する禮砲は大內山に響き二十一發の禮砲が帝都に響きわたるうちに千代の御契りの御神事を終へさせられると承る、次で皇靈殿、神殿の儀を終へさせられ、兩殿下御同乘午前十時十分宮城御出門、青山東御殿に入らせられるが、同十一時十分居事務官、高尾御用取扱が奉仕して供膳の儀を行はせられる、次で午後三時　天皇、皇后兩陛下に朝見、同四時皇太后陛下に朝見あらせられる

帝國の尊嚴擁護
強く正しく現實を直視せよ
東郷外相の放送內容

【東京電話】未曾有の世界危局に對處すべき帝國外交擔當者の重責を擔つた東郷外相は廿日午後七時半よりＡＫのマイクを通じ全國民に對して外相就任の決意と帝國外交の根本義についてその抱懷する信念を吐露したが、同放送中毅然たる態度をもつて帝國の尊嚴を擁護すべき點を強調したことは、東郷外交の信條を闡明したものとして極めて注目された、放送全文左の如し【寫眞＝東郷外相】

今回　測らずも外務大臣兼拓務大臣を拜命し恐懼の至りに存じてをります、秋恰も皇國未曾有の難局に際し非才果してこの重任に堪へ得るかひそかに忸怩たるものがありますが、荀くも重任を拜しましたる上は粉骨碎身最善の力を盡して御奉公を致す覺悟であります

凡そ　國運の躍進するところ國難の伴はなかつたとは古來頗る稀でありまして、この國難の試煉を克服し得て茲に初めて皇國の前途は極めて洋々たるものありと思考するものであります

帝國　外交窮極の目標が世界平和の維持增進にあるのは勿論でありまするが、事帝國の生存に觸れ又はその權威に關する場合にはあくまで毅然たる態度をもつてこれを擁し、以て皇國の光輝ある歴史的使命の達成を圖らねばなりません

從つて　帝國外交は外交軍事一致の體制を鞏固にし強く正しき信念に立脚し常に現實を直視して皇國の國運を發展せしめ以て國際平和に貢獻せんことを期する次第であります、この立場を堅持し恐れず焦らず正義に邁進するならば期して國難を克服し得べく國運茲に隆々として興るべきは火を見るよりも明かであります

以上　簡單ながら就任に際して所見の一端を述べた次第でありますが、茲に國民各位に對し御援助を切にお願ひ致します

國策貫徹同盟　全體會議開催

【東京電話】國策貫徹同盟は二十日午後二時より衆議院議長官舍において實行委員世話人會、同三時より全體會議を開催、所屬代議士四十名出席、東條新內閣の成立を機とし

一、皇國不動の國是の强力遂行
二、南洋各地より引揚げ邦人救濟

に關する二つの要請書を決定し國是の强力遂行要請については倉元、羅井、赤松、小山（亮）眞鍋（勝）、野田（文）深澤（豐）の七氏が二十一日中に東條首相を訪問要請書を手交し、また南洋各地引揚げ同胞救濟の要望については實行委員を擧げて二十一日さらに協議して首、陸、藏、拓、商、遞の各相ならびに企畫院に歎望救濟運動に乘り出すことを申合せ　四時散會した、なほ國是の強力なる遂行については同盟では今後全國主要都市で演說會を開催することになつた

新舊兩總理　電擊的事務引繼

【東京電話】新舊兩總理大臣の事務引繼は二十日午後五時から首相官邸で行はれた、この日東條さんは定刻より五分早く官邸に乘りつけ秘書官赤松大佐を隨へて總理大臣室に納まつた、しかし近衞さんはいつまでたつてもなかく來る樣子もないと思つてゐるうち五時十五分突然東條さんと仲よく並んで正面階段の上に現れた、それもその筈近衞さんは五時きつかりに細川秘書官を帶同人知れず裏門からはいつたのだ、超非常時日本の國運を託する總理のバトンを渡し終へた近衞さんの顏には一抹の安堵の色が、受け繼いだ東條さんの全身からは緊張と自信が溢れてゐるやうだつた、あわてた新聞寫眞班のフラツシユを瞬時浴びたかと思ふと多忙な首相一人を殘してふたたび廊下の闇の中に消え何處まで拔けて帝都の闇の中に消え何處まで拔けて近衞さんを乘せた自動車は裏門を【寫眞＝新舊首相の事務引繼】でも電擊的な事務引繼であつた

文相、首相と要談

【東京電話】橋田文相は廿日午後五時卅分首相官邸に東條首相を訪問、教育問題に關し要談した

海相、宮相を訪問

【東京電話】嶋田海相は二十日午後一時四十分宮內省に松平宮相を訪問、就任の挨拶を述べて同二時辭去した

首相秘書官發令

【東京電話】首相秘書官は二十日左の如く發令された

陸軍大佐　赤松貞雄
任內閣總理大臣秘書官（三等）
大藏事務官兼外務事務官　稻田耕作
任內閣總理大臣秘書官（五等）
陸軍大佐　西浦進
任對滿事務局總裁秘書官（三等）
對滿事務局總裁秘書官

河北、山東の剿共
蠢動の敵を潰滅す

【石門二十日同盟】河北省中部、南部の掃蕩戰は引繼ぎ行はれ各地に敵を捕捉擊滅しつゝあり、田邊部隊はわが後方攪亂の目的をもつて承德西方地區に蠢動中の第四十軍の一部に對して大鐵鎚を加へてこれを潰滅せしめ、松本、長島兩部隊は河北、山東省境地帶に殘存する共產軍を十四日滄河東北方地區に捕捉殲滅した、九月中の各部隊の綜合戰果左の通り
▲交戰回數五百▲抗戰敵兵力五萬九千五百二十▲敵屍九百▲捕虜六百二十五▲鹵獲品、武器彈藥多數に上つた

第二次期間も發表
故石橋大佐ら十五名に殊勳甲
陸軍卅一回　死歿者行賞

【東京電話】陸軍省より發表された、前回まで午前零時內閣賞勳局ならびに陸軍省より發表された、前回まで發表中の生存者はすべて事變勃發より昭和十五年四月廿九日支那事變第一次功績調査までのものであるが、今回はじめて同回）の御沙汰あらせられ廿一日の行賞（陸軍關係第卅一回支那事變死歿者殊勳功行賞）は第四十二次長き湯で浴したものは主として本年六月廿五日までの間に支那各地および滿洲の戰野において戰歿したもので特に昨年五、六月行はれた中支宜昌作戰に參加して幾々の武勳を樹てた山脇、田中（靜）兩部隊に屬する勇士が多數含まれてゐる、右のうち武功拔群の殊勳者として金鵄勳章を拜受し、またすでに上級の金鵄勳章を拜受するため賜杯の光榮に浴した者は故陸軍中將正四位勳二等功二級、山田登三郎發表されたのである、今回恩典に浴した第二次（第二次功勳期間）のものが二十三名でうち宜昌攻略戰に山脇部隊の大隊長として加はり信陽北方京漢沿線の敵陣を突破して唐白河畔の各地に轉戰、五月廿七日襄水渡河作戰のための搜索隊長たる李家大山（襄陽東南）の攻擊に惜くも散華した石橋架吉大佐（千葉）以下十四名に對して特に拔群の武勳を嘉せられて殊勳甲の御沙汰あらせられた右のほか今回は御杯を賜りたるもの相當多數に及んでゐるが、これは第一次行賞その他においてすでに相當する勳章を拜受せるるためこれに代り賜杯の恩典に浴らしてゐるものである

殊勳甲

功級	官等	氏名	府縣
功三	大佐	石橋架吉	千葉
功四單光	中尉	林　武志	長野
同　旭五	大尉	西村滋信	靜岡
同	大尉	北村隆平	三重
同　旭五	大尉	藤村毅夫	高田
同	大尉	倉重武雄	防府
功六	上等兵	上村信義	新潟
功五	准尉	西山繁司	新潟
功四	大尉	白石　卓	宮城
功六旭七	伍長	小林　久	宮城
功三	中佐	石川武雄	岡崎
功五	准尉	黒川六三郎	千葉
同	同	中島松夫	岐阜
同	曹長	芹澤良平	靜岡

一般行賞
戰死者（第一次）（第二次）

功級	官等	氏名	府縣
功四旭二	少將	小林秋夫	下關
小綬功四	少佐	今村光藏	長崎
旭四功五	同	藤本芳樹	同
同	功四 中佐	石田謙藏	福島
功四小綬	少佐	板倉三郎	福井
功五	少佐	新島英七	群馬
殊勳乙賜盃	少佐	小長井義重	靜岡
功四	同	倉田　宏	三重
功四	中佐	小林　浩	東京
功五双光	少佐	渡邊仁作	新潟
功五	少尉	濱野光助	仙臺
殊勳乙賜盃	少尉	秋元　柔	德島
功三	中佐	秋元　柔	德島
功五	少佐	齋賀金三郎	山形
功四	大佐	岡地秀雄	廣島
功三	中佐	西川政一	岐阜
殊勳乙賜盃	曹長	倉橋正己	愛知
同	大尉	石川　弘	靜岡

病死者（第一次）（第二次）

功級	官等	氏名	府縣
賜盃旭二	少將	山田酉三郎	愛媛
旭二賜盃	中將	大塚彪雄	千葉
旭五 賜盃	少佐	今尾榮弌	名古屋
瑞三	中佐	梶川喜治	仙臺

朝鮮關係の分
戰死者

功級	官等	氏名	道
旭五	少佐	高木兩水	福井
賜盃	大佐	錦木直藏	旭川
賜盃	少佐	伊香賀直良	佐賀
賜盃	同	比佐國永	福島
瑞八	白色	平山榮玉	平南
同	同	李東浩	同
同	同	洪承萬	同
同	同	崔翼柱	平北
同	同	金允熙	同
旭八	白色	桂東喜	同
瑞八	同	康濟賢	黃海
同	同	朴相俊	江原
旭八	同	金瀚學	咸南
同	同	金城應鳳	平北

病死者

功級	官等	氏名	道
同	白石	行勉	同
同		山住正雄	平北
同		中谷勝雄	全南
賜盃		郭淳福	慶北

板垣軍司令官
平壤の防空演習視察

【平壤電話】板垣朝鮮軍司令官は副官を帶同、二十日午前十時至急來壤、關係方面との打合せを終へ鐵道ホテルに少憩後元から實施中の防空訓練狀況を視察のため岩崎部隊長の案內で午後一時十分大和町の鮮銀に到り屋上より軍官民一體の防護、防火作業につき石田平南道本部長、山田府本部長などの說明を徴し警防團の迅速果敢な訓練活動を賞讚しつゝ約四十分にわたり熱心に視察同日午後三時半全路歸城した

一方南方のアゾフ海に沿つて前進してゐた部隊はロストフを距る六十キロのタガンログを占領いよくコーカサス近東作戰に入り得る狀態になつて來た、大體獨軍は嚴寒に入る前にレニングラード、モスコー、ロストフを連ねる線を占領する豫定といはれてゐたが、赤軍が豫想外に早く崩壞したので今度は目標を少し前進させレニングラードの東方ゴリキー、アストラハンの線まで攻略し、この線で一應作戰を終結し一部をもつてコーカサス近東作戰を續行、兩餘の部隊を引揚げ他の大作戰に待機せしめることになるものと見られるのは大體今月末乃至來月はじめごろと見られる

穗積殖産局長新京着

【新京二十日同盟】穗積朝鮮總督府殖產局長は鹽田鑛山課長を同道二十日正午來京第一ホテルに入つた、なほ同局長は二十一日政府、軍關係者と會見要談し二十二日午後一時五十分離京の豫定である

＝人＝

◇小橋朝雄氏（西松組常務京城支店長）東四軒町一〇一（軍本九〇一）に移轉
◇松井邑次郎氏（南鮮鐵社長）廿日入城
◇樋口虎三氏（同上）同上
◇高橋省三氏（高周波專務）廿三日午前八時十五分城津より歸城
◇安井清氏（同常務）廿一日「あかつき」で東京より歸城
◇菊池一德氏（朝鮮製錬社長）廿一日午前八時十分城津より歸城
◇岡部賢太郎氏（三菱商事京城支店長）二十日「あかつき」で着任

長谷川亞夫

ソ聯政府は、我が帝國大使館に撤退申入れを行つた、既に此の一事だけでも、ソ聯政府の內部的經過が、遂に對外的に大きく表示されたと観るべきであらう、露西亞の古い謠にこんな言葉がある「ノブゴロドは父・キエフは母・モスコーは心臟、ペトログラードは頭腦」と一既に陷ちたるキエフも今は亡く、心臟、頭腦ともに危殆に瀕し、父たるべきノブゴロド亦陷落の運命にあることを思へば、露西亞の中體の全部を擧げて失はれんとする非運にあると云ふべく、ソ聯政府のモスコー引揚げ準備も亦當然であるといはねばならまい

さて、かうなると
——では、モスコーはいつ陷落するか？
——ではソ聯政府卽ちスターリン政權は何處に行くか？
——では、レニングラードはいつ陷るか？
——では、今後の獨ソ戰はどうなるか？
と、では？では？では？——の矢繼早やの質問の何れも獨ソ戰が展開されることになるわけだが先づその一つ一つから觀測を述べて見よう

すでに浮足立つ
落ち行く先はカザンか

情報によると獨軍はタガンログを落し、ロストフまた陷落したとの觀點に立つた場合と、これとも一つ、ソ聯政府が浮腰だつたといふ二つの理由から、モスコーの攻略は、もはや時間の問題といふより他はないのである けれは今獨中——思ひきつていへば、これもいつていへぬ言葉ではない

さて、それでは、その浮腰だつたスターリン政權は何處へ行くか？……この問題である「ウラルの東麓、スウエルドロフスクか又はスターリングラードか、どちらかだらう」と一時この兩地の呼聲が高かつた、これは獨ソ戰第一段階に於て、獨軍の南部戰線が今日の如き急速なる展開を豫想されなかつた當時のことであつてその意味ではこの兩地は決して間違つた觀測ではなかつたのである 卽ち政治機關の移轉先としてまづスウエルドロフスク、軍事の中心基地としてスターリングラードといふ見方は至當であるとされてゐた、もつともこの中でもスウエルドロフスクの方は、當時でもあまり問題にはされてゐなかつたやうである。現に、ソ聯側から出た確實な多くの情報を綜合しても一時はスターリン自身も軍事の中心基地としてスターリングラードに移轉する肚であつたことは確實である

何故ならば、スターリングラードこそ地形上、距離上赤軍が抗戰を續ける上に於て最重要な要素をなす石油資源の產地及び獨軍の占領地域、特にウクライナに對するパルチザン戰の基地として最も好適な地域であるからである 處が前述の如く獨軍は早くもこれを察知したのか、一方モスコーに包圍殲滅の陣を繰展げると共に、タガンログ、ロストフにその先鋒を突入せしめたのである、そしてコーカサスの大野を占めると共に一面このスターリングラードを脅かすに至つたのである

その意味でソ聯側は完全に作戰の裏をかゝれ苦汁を味はされたといふ慘めな結果となり、さて落行く先は何處か？——といふ段になると迷はされざるを得なくなつた譯である、かうした點から考へると、やはり話は前に戻つて、定石通り、スターリン政權は一まづカザンに移りモスコー防衞の指揮に當りそして更にウラルの東麓スウエルドロフスクとなるのではあるまいか、と觀測される

さて、それでは、モスコーが陷落しスターリン政權がウラル落ちをしたらその後はどうなるか？といふ問題であるが少くともこれまでのところではソ聯の民衆は、完全に戰況の實相は眼隱しされてゐた、したがつて民衆の動搖は殆ど見受けられなかつたといひ得るが、最近になつて例のレニングラード黨書記長クズネツオフの名によつてなされた焦土抗戰の布告以來、漸次民の方から不氣味な動搖の機運がきざして來た模樣である、加ふるにモスコー以東に戰線から避難民が雪崩れ打つ樣に殺到して來て、その口々から戰況の不利が傳へられるやうになつてからといふものは、この機運が一層の拍車を加へられた傾向が見えて來た

然し目下の處、暴動とか反政府運動といつた樣な具體的な發展迄には前途遼遠で、まだく赤軍最後の勝利と云つた點に一縷の期待がかけられてゐる模樣である、然しモスコーの陷落が實現したら一大衝動は免れまい、民衆の底に流れてゐるこの赤い火は必ず何等かの形式に於て爆發するに違ひない

だが、それかといつて、これによつてスターリン政權が潰滅すると考へることは早計である、何故ならば所謂革命前後に生れた青少年はいま、ソ聯の政府機關なり軍隊の力強い第一線となり國民の中堅層を形成してゐるのであるが、これ等のスターリンに對する全幅的信頼と支持は、スターリン政權に侮れぬ強靱性を與へてゐるのである

これから觀ても、新時政權そのものが弱體化することは爭はれぬ事實としても、いきなりこれが崩潰するとか潰滅するとか云つたことは到底想像を許さないことである

さて、最後にモスコー陷落後の獨ソ戰の歸趨であるがドイツ軍としては、モスコー、レニングラードを奪取すれば、それ以上作戰を擴大することは從らに戰線をひろげるばかりで、事實得る處は少いのであるから、結局ＡＡ線で踏み止まり、ウラル以東のスターリン政權と相對峙することゝなるであらう

そして獨軍の鋒先は一轉してコーカサスから近東に延びてバクーの油田獲保、イランからイラクの英勢力驅逐の作戰が施行されることは明かである

これは言ふまでもないことであるがバクーを獨の手に委ねたあかつきのソ聯は兵力の喪失した上に機械化依存の産業上致命的打擊であり獨軍にとつてはこれとは逆に對英作戰の上に決定的最後の勝利の鍵を握ることゝなるのである

赤い廣場で
獨軍の入城式
こゝ旬日中に行はれん

【ベルリン二十日同盟】獨軍はモスコー包圍線をいよく縮小一兩日來重砲の着彈距離內に迫つたと傳へられてゐたが、十九日獨軍當局も獨軍は目下モスコーの外側にある防禦陣地に對し猛烈な攻擊を加へてゐる事實を確認し、モスコーの陷落もいよく遠くないとの印象を與へてゐる、モスコーは各國の首都と等しく政治は勿論、交通通信など、一切の國家中樞機能がここに集結され、これを失ふときは一切の政治活動が麻痺してしまふやうな地位にあるので、スターリン議長は最後までこれを死守する決意を固め、これがためチモシエンコ軍八十數個師團をモスコー正面に配置し絕對に獨軍の進擊を許さぬといふ態勢をとつてゐた

赤軍のかうした作戰に呼應してヒトラー總統はなるべくこれを前線にひきつけておくやうな方策を廻らしたのである、すなはち獨軍はモスコー占領などを全然目標にしないと頻りに宣傳したり、あるひはウクライナ方面に作戰の重點を移したやうな恰好を見せたりしたのは一に赤軍を油斷させせなるべく前線にひきつけるためであつた、赤軍はこの策略に乘つて一日獨戰車隊の突入したヴイヤジマを奪還したのち調子に乘つてスモレンスク方面まで出擊、これを奪還したと頻りに宣傳し得意になつて陣地を前方に進めて來た、そして赤軍側では結局この調子で對峙したまゝ冬を越すものと豫定して悠々と待機の姿勢をとつてゐた

しかるにウクライナ作戰が終るとヒトラー總統は直ちに獨軍を北上させ三軍の主力を集結したのち一擧に包圍戰を斷行、チモシエンコ軍をうまくと網の中に入れてしまつたのである、この捕虜は約六十六萬でキエフ戰と大體同じ數字であるが師團數から見ても赤軍の損害はキエフ戰より遙かに多く八十個師約百五十萬の兵力は完全に殲滅されたものと見ねばならぬ、獨軍情報ではモスコーの外交團はすでに完全に移轉を終りソ聯政府機關も一部を殘して全部移轉したといはれ赤い廣場で獨軍入城式の行はれる

農村の天引貯蓄 實施要綱決る
人の指定庭先買付 共販同様債券交附

六億貯蓄達成に農村の占むる地位は極めて重大であつて殊に出來秋の籾共販の際における天引貯蓄高は各方面から期待され、從つて籾一叺一圓七十錢の天引貯蓄實施要綱は注目されてゐたが、總督府ではさきに開催の各道産業部長會議の意見を參酌の上、次の如き具體的な實施要綱を決定した

一、籾の共同販賣に當つては一叺（五斗入）につき一圓七十錢の天引貯金を實施せしむる、この場合共販場所に金融機關、主として金融組合の出張員を派遣して天引を行はせるか、或は金融組合事務所で票によつて天引せしむる、而して預金の種別は原則として短期とし四年、五年と云ふ長期のものは避けることとし預金は一ケ年以上の据置きとすること

二、指定買付人が庭先にて買付ける場合は天引金額は共販と同様とし報國債券を交附する、但し一圓未滿のものは四捨五入とする、これが方法としては原則として報國債券一圓券又は五圓券の交附によりこれを行ふが債券不足の場合には金融組合聯合會發行の小切手を交附の上、これを道内の任意の金組に提示させ預金に振替へしむる

畑作物増産に指導陣を増員
きのふ公布

食糧畑作物の増産は帝國食糧の事情からして刻下の急務たるに鑑み本府ではこれが増産計畫を樹立し實行に移してゐるが、更に指導陣を整備して督勵すべく關係官の増員を要求してゐたが、廿日附官報で道技師三名と十二名の道技手増員の官制が公布されたので愈よ京畿、忠北、咸南の三道に技師を、各道に一名宛の技手を増員、畑作増産に全力を注入せしむることとなつた

飼料逼迫に對應し 増産の合理化期す
所要經費を明年度豫算に要求

本府農林局では朝鮮における畜力増強を目指し昭和十二年度より畜牛増殖十ケ年計畫を樹立し目的完遂に邁進しつゝあるが、最近の飼料逼迫狀況に鑑み粗飼料、濃厚飼料の増産並に製作管理及び配給の合理化を行ふこととなりこれが所要經費を明年度豫算に要求した、而してこれが具體的方法としては

一、指導職員を増置し粗、濃厚飼料の製作、管理に濃厚なる指導を加へる

二、自然飼料の多收穫及び品種の改良、貯藏方法につき必要なる施設及び指導の方法を講ずる

三、從來使用されてゐなかつた粗飼料につき配合方法を研究し飼料増産の一助とするのが主なるものである、而して之に先だち主要食料の管理を實施以來大口需要に對しては畜産會社の統制配給によつて順調に行はれてゐるが農村における耕牛用濃厚飼料は出廻期に全部を供出するので殆んど粗飼料のみにて飼育を行つてゐる狀態にあるので、之が是正を期し金融組合と協力し組合の手を通し一旦供出したものを飼料として農家に還元する

ひじき等に販價を指定

總督府では價格等統制令の規定に基づき、ひじき及びひじき原藻の最高販賣價格を次の通り廿日附官報で指定した

		小賣百匁
ひじき	甲地	廿二錢
	乙地	廿七錢
	丙地	廿八錢
ひじき原藻	百斤	六圓七十錢

人絹經メリヤス生地の販價決定

總督府では價格等統制令に基づき十六日附官報で人絹經メリヤス生地の最高販賣價格を指定した

纖維生産命令品 納期嚴守を要請

……方法を講ずることとなり本年出廻期より實施に移す方針である

日崎東拓京城支店長代理ほか朝鮮織物移入組合統制委員七名は、さきに大阪、東京へ赴き商工省纖維局、……、日本人絹織物商、……などの幹部と會見、近く配給統制を實施する纖維製品の朝鮮向け配給量、纖維物生産命令公布に對する朝鮮側の對策、更生纖維物の朝鮮向け配給などにつき折衝、特に生産業者の悩みであつた人絹、スフ等生産命令品の朝鮮に對する納期遲延につきこれが納期の嚴守方を要望した結果、今後は實情を調査したうへ正常な理由なくして納期を遲延した移出業者には制裁として配給割當を減ずることとした

なほ綿洋服地の朝鮮向け配給量は年間五千萬平方碼の見込である

木材統制の本府案
斷乎實現の方針堅持

朝鮮における木材統制は本府案と業者間に可成り意見の喰ひ違ひがあり昨年統制に着手以來今日に至るまで、その實現を見るに至らないが本府側はその間の數次の折衝により熟分原案の修正を行ふところあつたが、依然業者間にはその方針に不滿の意を表してゐる、然し本府としては時局緊迫せる最近の情勢に鑑み斷乎本府案を實現する方針を堅持してゐる、しかして實施せんとする本府案の骨子は……

全國森林組合・聯合會設立

【東京電話】農林省では農業新體制の一環として山林新體制を取……

南、北の連絡送電線は年末愈よ送電開始
遞信局が幹線に使用を計畫

本春實際的着工を開始した南北の電源連絡送電線たる寧越—大田間二百餘キロ十五萬四千ボルト國有送電線約一千萬圓の工事は遞信局の全力を傾倒して不安定南鮮ブロックへの送電開始を開始し得るまでに進捗した、豫定は明春三月であるが……の十五萬四千ボルト送電線竣成で北部朝鮮發電の幹線と連絡、十一月早々には臨時送電を行ふことになつた、十二月には全線の完成で豫定通り八萬八千ボルトによる全線送電を行ふが、目下寧越の三基中一基が故障で釜山の豫備火力を運轉せしめつゝある赤信號下の南鮮ブロックはこの北部電源から流入される臨時送電によつて緩和をみる譯である、遞信當局はさらに十五萬八千ボルトによる幹線送電の連絡にまで飛躍させるべく電氣統制の見地からこれを急ぐことになつた

白石、久保田兩氏 日窒常務に昇進

日本窒素では朝鮮窒素所後の重役陣再編成についてこの程東京本社で重役會を開き互選を行つた結果取締役白石宗城（朝鮮窒素）同久保田豐の兩氏が日窒常務に昇進した

朝鮮産金買入會社 元山出張所業務を開始

朝鮮産金買入會社元山出張所では昭和十六年十月十三日付を以つて含金鑛物買入の免許を得たので愈よ買入業務を開始することとなつた

大日本食肉會社店開き

【東京電話】二十日から全國一本建の肉配給機關として大日本食肉統制會社が店開きした……

全鮮商工相談初の連絡會議

京商次期副會頭
田中、金兩氏が最有力

京城商議次期副會頭の下馬評は議員の改選期の切迫につれて各方面より異常な關心を拂はれてゐるが各種の情報を綜合すれば、内地人側は現副會頭の田中三郎氏、半島人側は金季洙氏が最有力であり、兩氏の副會頭就任は確實とみられてゐる

賀田、田川、朴氏特別議員に官選か

金組の强化策 愈よ年内に整理斷行
本府方針決る

溫州蜜柑の供給打合會

群山商議總會

夕刊後市況

借万・貸万

北方資源の重要性 ②

石油

北方資源中第一に擧ぐべきは地下資源で、その中でも最も問題となるのは燃料資源としては石油も石炭も非常に豐富で特に燃料資源の王座を占める石油は、東亞共榮圏内においては蘭印と双璧をなすものでその中心は北樺太である、從つてこれを總括すれば、北方資源の探求の根幹は實に北樺太の石油資源の探究にありこれが開發を確保するものこそ北方の中心勢力たり得るともいへるのである

ソ聯の石油生産は世界第一で、全世界生産額の五八・八%を占めその年産額二、三二〇萬トン（一九二八年）に達してゐるが、その内北樺太の石油埋藏量は三三、九八〇萬トンと推定され年産額も次のごとく逐年増加してゐる

年度	北樺太の採油高	全ソ聯に對する割合
一九三二年	一八三、八〇〇噸	〇・八%
三三年	一九六、八〇〇	〇・九
三四年	二四一、〇〇〇	〇・九
三五年	三六〇、〇〇〇	〇・九
三六年	四〇六、八〇〇	一・二
三七年	三〇〇、〇〇〇	一・〇

更に一九三九年には二八%の増産で四五萬トンに増したと報告されてゐる、今や歐露の主要油田地帶を失ひウラル盆部を探求されつゝあるソ聯にとつては、北樺太油田がウラル以東唯一の石油資源としてその重要性を加へつゝあるは云ふまでもない

この北樺太油田は東海岸に沿うた南北約二百二十粁の間で、北部にオハ・エハビ、南部に……

有望な調査地

合鮮卸物價 九月中騰貴

昭和十六年九月中の全鮮卸賣物價指數は本府商工課において八十六品目に亘り調査の結果、總平均二一九、七で前月に對し保合であるが前年同月に比し二、四の騰貴となつてゐる

なほ品目別に前月比をみると馬鈴薯七、五、牛肉三、八、乾明太魚二一、八、豚肉二一、七、外二點が低落、煉瓦一五、七、……五、二、卵二、五、大豆粕二、五外七點が騰貴、他は保合である

本月指數左の通り

食糧品二三三、〇、穀類二四四、七、調味料二〇一、八、飲料一六九、一その他食料品二四九、二、衣料品二二四、九、金屬類一九九、〇、建築材料二二九、六、燃料一八八、四、肥料一八八、七、雜品二五六、五

肥料の配給
農會統一各道要望

農林局では金肥の合理的配給をはかるため現行配給機構に全面的檢討を加へてをり、今年中には具體案を得る豫定であるが、右機構改革に對し各道では末端配給機關の關係に關し左の如く要望してゐる

一、現在の末端配給は農會、金組、商人の三系統となつてゐるが農會で統一配給すること

一、單一配給不可能の場合は農村團體のみを農會系統で單一配給すること

いづれにしても現行の配給系統では配給の混亂を招來してゐるにかんがみ速かに統制の實施を强く要望してゐる

小作米の奬勵金
納入の場合地主が立替拂ひ

今回の米價對策に基づく米作奬勵金二圓、地主に對して一圓の……

京城商議員戰
推薦された人々の顏【一】

活躍の期待大 松原純一氏（一級）

半島財界の大御所として名實ともに權威を有する同氏が出馬したことは京商議員の格式と京商の地位に千鈞の重味を加へるもので京商今後の向上發展は期して俟つべきものがあらう

いまさら商工會議所の議員や會頭でもあるまい氏が、遂に出馬のやむなきに至つたのは、今回の候補者が京商始つて以來の大物揃ひであるため、同氏ならでは統御できぬとの見地から周圍より遮二無二押されて出馬せなざるを得なくなつたもので、この點氏にとつては寧ろ有難からぬ迷惑でもあらう

併しひとたび出馬した以上、最善をつくして會議所機能の遂行に萬全を期することは勿論で、同氏としても會議所機構の革新斷行を企圖してゐるやうであるから會頭就任後における活躍を今から期待される【寫眞＝松原純一氏】

辣腕と押强さ 古庄逸夫氏（同）

すでに世間周知の如く、稅務監督局長まで勤めあげて來た男で、今さら商工會議所議員など役不足も甚だしいと思はれる者の一人であるが、松原推薦委員長直三の懇望によつて遂に出馬を餘儀なくされたわけ、無選合同を苦もなくやつてのけた辣腕と押の强さによつても同氏今後の活躍を充分に期待できる當選の曉は松原氏のよき相談相手としての役割を果すであらう【寫眞＝古庄逸夫氏】

八面玲瓏な性格 荻原三郎氏（同）

いはゆる大物級の候補者とみられてゐる一人で、鮮銀の庶務課から朝運入りをした人た、八面玲瓏な性格で肌ざわりがいゝ上にテキパキしてゐるので……

異色と實力の人 山本喜一氏（同）

家憲を犧牲 小林源六氏

溫厚なる人 本吉兵次郎氏（二級）

役の熱意 新井俊次氏（同）

業界革新に一

半島最高の體育祭典
"體力奉公"への鍛錬けふ開幕

第十七回朝鮮神宮奉贊體育大會はいよいよけふ廿一日午後二時參加全員一萬餘名が總督府に集合、朝鮮神宮參拜式へ進發の體育行進によつて開幕、半島最高の體育祭典が ここに逞しく開幕……

軟式庭球の日程を變更

朝鮮代表軍 廿六日出發

臺灣の代表

明治神宮大會

野球競技出場軍決る

聖なる神火の敢闘

慶大競走部の新役員 幹事に金山君

けふの鍛錬運動

京城版

斃れて後已まん 烈々軍國乙女の挺身

責任を重んじ身命を挺して危難に處すべしの警防團綱領をそのまゝに活動してゐる永登浦警防團員の中に大和撫子の意氣を見せた白衣の天使とこの軍國乙女の健氣な心に感激して婦のお禮の看護に〃これは私事だ〃と飛び出した同僚やら神經痛で床に臥してゐた身を鞭打ち〃濟まなかつた〃と勇躍出動した、これは防訓を彩る感激の花束【寫眞＝木原さん】

府内第一陸軍病院の看護婦見習木原フジ子さん(一八)は本年三月以來永登浦警防團救護部救護係として一度も缺かさず逞しい活動の傍ら町方からの救護係員の指導にも勵むので警鳴部長以下全團員の感激を深めさせてゐたが今度の訓練にも連日不眠不休の活動をつゞけるうち第三日の十四日の晝前から身體具合が惡いので夕方楠田博士の診察を受けたところ責任と診斷〃絶對休養せよ訓練には豊原君を代理に出せ〃といはれたが木原さんは今自分が休んで豊原さんが行けば手不足の病院は更に困るし且また不馴れで町方からの係員の指導も取れまいこの上は病氣と戰つて私の持場を完全に守らうと決心しこの旨を告げた、この燃ゆる愛國の至情には博士以下も眼頭を熱くしそれ以上は諫められなかつた、その後も木原さんは一時倒ん己の身體に鞭うつて、防訓に參加してゐたが、偶々十九日午前五時五十分曉を衝いて鳴り渡るや空襲警報に相も變らず寢床から跳ね起き身を刺す秋冷をものともせず、救護本部へ馳せ參じたが木原さんを手當にかけて診察しつゝある楠田博士は遂にじつとして居れずペンを取つて

〃前略木原君は責任で絶對休養を必要としますが本人がその責任を痛感し代理も拒み倒れるまで持場を守ると頑張るのでその心掛けに感服し出席させてゐますが何卒この段黑と御諒承の上なるべく本人を納得させて嚴しい活動を幾分制限させて戴き度く切に御願ひ申上げます

と認め警鳴部長宛に屆けられたので居る人々この痛々しい木原さんの氣持を秘めて知り感激の淚を濺したのだつた、やがてこの事が一般團員にも知れ渡るや監禁施さんのお產看護に行つてゐた國財食堂の女給本川トキワさんも『さうだ、私は何處だつた、私のことに拘泥されて何といふことだらう』と早速馳せつければ、一方防護部中村部長、森岡副部長兩氏も感激して職場の高熱と痛む神經痛を押切つて出動するといふ美談は美談を生んで工部永登浦は微動だもせぬ鐵壁の防空陣が布かれたのだつた、

これにつき中川第三分團長は語る 全く感心な方です、木原さんは平素とても熱心にやられるので團からもかね〴〵ご諒方を考へてゐたのですが今度の態行は全般團員の範鑑であるばかりでなくその士氣を鼓舞するところ多大で團長として何んとお禮を申してよいやら言葉がありません、この上は木原さんの病氣が一日も早く癒ることを全團員揃つて祈つてゐる次第です

淑明高女聖汗行

淑明高女では廿七、八日午後から同校長野村氏外職員五名は全校生を代表とする三年生百六十餘名の勤勞奉仕二部隊を引率して扶餘へ向ふ

防訓へ 遺家族も擧る

軍人遺家族や應召軍人家族のために瀟洒い住宅となつてゐる新設町三八〇軍人家族住宅に住む二十の遺家族達で結成してゐる愛國班は連日の防空演習に敢然と參加して班長守士たつもさん(五〇)以下聖戰に夫や父や兄を送つた光榮の家族達二十名はさすが勇士の血をうけて雄々しい活動を續けて同町の模範となつてゐる、同町副總代安田吉藏氏は二十日午後同愛國班を實踐指導したあとで『さすがは勇士の家です』と語つて、深く感激な態度にうたれてゐた【寫眞＝防訓に起つ遺家族】

警防團を犒ふ

今度の防訓に際し江南の空を護る警防團を初め各愛國班の活動は目覺しきものがあるが就中永登浦北部町會では靑木總代曲に町會職員を初め岩田指導主任以下指導員が打つて一丸となり兎角從來立ち遲れた町民に對し否應にも今回の訓練には臨戰態勢の水準に迄へ上げようと訓練實施前から愛國班長の講習會、區長打合會を數回開催しみつちりと緊張させ充分な準備を揃へ愈よ訓練實施に當つては夜を徹に書き燈火管制を初め警戒空襲警報等の警報下における防護作業の萬端の指導に不眠不休の必死的活動をつゞけ相當の成績を擧げてゐるが、こゝの淚ぐましい活動ぶりに感激した當町第四區の朱海氏から金十圓、同第十一區尹弘權氏から金十圓をそれ〴〵町會に持參、僅少ですが夜間の御辨當代にでも充てゝ下さいと靑木總代に差出し靑木氏を初め町會職員部に指導員を感激せしめた

聖なる汗 城東中學校勤勞奉仕隊

國民皆勞運動に敢然部隊を揃つて勞力不足解消に勤勞奉仕を續ける逞しい職域下の生徒達—城東中學校では去る十六日から午後の後間を利用して同校勤勞報國隊を各組交代で往十里に新設される城東警察署敷地の地均し工事に三年以上の生徒を動員、人夫達に交つて聖なる汗の奉仕をなしてゐるが、鍬を揮ふため車を押すもの達ゞ獻を額に汗し日頃の鍛錬ぶりを遺憾なく發揮、警察當局者を感激さしてゐる【寫眞＝勤勞部隊】

女子醫專開校式

女子醫學專門學校では、來る廿六日午前十時から同校講堂で建築中の同校々舍竝に附屬醫院落成式を兼ね開校式を行ふ

兩總代が固き握手

既報—十九日夜東部出張所前に展開された牛島總督の夜間防火防毒演習は空前の效果をあげて京城の夜の空への絶對安全感を示したがはからずもその裏にうるはしい人情話がしかも同じ職域にある二人の町總代の間に交された

同夜の警防演習は東大門第四分團を中心として行はれただけに同分團長安福信治氏の双肩に掛つた重責は大きかつた、同氏が居住する昌信町愛國班はこの晴れの訓練にぜひとも參加を希望しその昌信町總代辰城好雄氏の許に願ひ出る熱心な班長もあつたが辰城氏は『たとへ安福分團長が昌信町役員であるとしても警防團は東大門全體の機關であり私事するものではない』と意見を出してさつそく安福氏とも相談隣町の崇仁、新設總代伊東英也氏に對して『さあ貴方の愛國班のお働きを見せて下さい』と花も味もある言葉と共にその晴れある出場を讓つた

感激した崇仁、新設町會では町內第一の優良區長金山喜藤氏の率ゆる第十一區百二十名に出動命令を出したので、これまた感激、かくして當夜の活動は裕田東大門署長をして『滅多なくしては見られぬこの敢鬪』と讃嘆させたほどの好成績を納めたのであつた

愛兒御國に捧ぐ 警防團員の龜鑑金井さん

これは愛兒の死を秘めて猛然防訓の重責を果した君の感激篇＝十八日午前五時を期して鳴渡る警戒警報に西大門警防團第三分團救護部の祭町九八金井準一氏は、だゞちに部署について献身的な活躍を續けたが、偶々約半月前から重態であつた娘貞子ちやん(二)の病勢は益々惡化して〃貞子ちやん危篤〃の悲報を告げられて來たが、愛國の情熱に燃える同氏は私情をじつと押へて任務を果し終るや取るものも取りあへず愛兒の身を心に抱きながら家に馳せ歸つたが、既に遲く、貞子ちやんは遂に不歸の客となつてゐた、ところが翌十九日午前五時五十分に又も執拗な敵機襲來の警報を耳にした同氏は娘の死後の措置をも顧みず、部署に歸り國土防衛に必死的活動を續けてゐるうち、このことが幹部の知るところとなり、強ひて歸宅を勸めたが、責任感の強い同氏は〃娘の死は私事だ、私事のため、公務をないがしろにすることはいかん〃と最後まで職務を果したが、同氏の美擧は忽ち君の美しい話題となり警防團の誇となつてゐる【寫眞＝金井氏】

大海堂從業員の美擧

防訓第九日目—本社で行つた警戒下の通信訓練に協力した太平通二丁目大海堂印刷會社工場從業員に對し本社ではその勞を犒ふため金一封を贈つたところ、從業員一同は〃この時局下に當然の仕事をしたまでだ、この金は私せず獻金しよう〃と申合せ、更に各自出し集めた合計二百六圓五十錢を代表相田工場長が同日本社を訪れて獻金方を寄託した

こゝにも美談

防訓に拾ふ〃勵ましの〃青年の美談—錦町青年隊元町四丁目分隊長中村猛君は同町警防團水防部の主任を兼ね、隊てからその忠實なる活躍ぶりを注目されてゐたが、今回の防訓にも挺身雄々しい實踐を揚げてゐる、猫の手も借り度い空襲下の町內愛國班員の手助けとして非番の警防團員を招集、警備の一環に赤誠の協力をなし班長の防空陣を固め、町內より感謝の眼をうけてゐる

不正商人に斷

防空資材を當込んで『かういふ機會にボツてやれ』とばかりいかゞはしい消防具や不正消火器等を如何にも偉力あるものゝ如く誇大に廣告して賣りつける惡德商人が最近府內を橫行するので注意するやう本町署では管內愛國班に通知を發し、不正商品と目されるものは名古屋市で製造の防護具消火彈と稱するもので效能書ほどの效果はなく價格等も何等指示無きもので時局便乘的不正品と認められたもので各町會に警告を發すると共に取締りの徹底を期することゝなつた

第三高女の誠

京城第三高女では十六日第一線で働いてゐる軍校關係の皇軍勇士へ眞心をこめた慰問文と慰問袋を送つた、同校は今春四月に新設されて百六十餘名の生徒を擁してゐるが、これも兵隊さんのお蔭であると何時も學用品や小遣錢等を節約して每月忘れずに慰問文や慰問袋を送つてゐる

竹添町でも

京城竹添町町會第四區五班員一同は大陸の戰野に勤勞する皇軍に送つて下さいと十五日慰問袋一個を同町會事務所へ寄託した

龍山工作青年隊の訓練

龍山工作會社青年隊では十八日午後五時から隊員九百五十名を召集して學科に引續き猛訓練を行つて、同七時解散した

路針

◇……十九日の夜東部出張所前で大規模な夜間防訓をやつたことは既報の通りだが、あれだけのことをやるのだから定めて本府、道から御出張があるだらうと各係員張り切つて待構へてゐた

◇……ところが臨席したのは矢野府尹一人だけだつたので意外に少かつたお客樣の數に落膽してゐると

◇……いやくと慰める人あり『井上元道長も臨席されてゐますよ』……と警防團長を指させば井上さんすつかりてれて『冗談中止ッ』

ラヂオ 廿一日(火)

朝 六・二〇ニュース▲六・三〇(東)レコード▲六・四〇(仙)『甲胄に語りて』高木義人▲七・〇〇(東)時報(城)宮城遙拜外▲七・〇一(城)ラジオ體操▲七・二〇(東)日露戰爭後の日本の發展(二)平貞藏▲八・二〇(城)氣象通報▲一〇・〇〇(東)ハホトアソビ『ヤヌピコ』安西愛子▲一〇・二〇(東)『結婚の式と支度』田中孝子▲一〇・三〇(東)レコード▲一一・〇〇(東)お話『軍艦の話』小林英一

晝 正午(東)時報(城)獻饌、今日のお知らせ外▲〇・〇五(東)家庭短篇『秋曲』楓田貞一外▲〇・〇二ニュース▲一・〇〇(山形)朗讀『小風土記より』熊谷アナウンサー2(大阪)『農村婦人に訊く』小松幸雄外▲二・〇〇(東)『君が代行進曲』外 東京市第四國民學校兒童▲二・二〇(城)氣象通報▲二・三五(京城第二)『按摩の話』崔性章▲二・五五(東)ラジオ體操▲三・二〇ニュース・海上氣象▲三・五〇(東)職業紹介▲四・〇〇(東)『ヨイコドモ一年十一月教材の解説』野瀬兒顯▲五・〇〇(東)1、童謠『樹問袋』外 綠ヶ丘樂音團、2輕音樂『ホフマンの船唄』外 松竹新樂團

夜 【三笠宮殿下御成婚奉祝記念放送番組】六・〇〇(名)お話『よき日をお迎へして』安倍季雄▲六・二〇(東)シンプン 關屋五十二▲六・二五ラジオメモ▲六・三〇(城)朝鮮第二次綜合防空訓練講評—政務總監官邸より中繼—大野綠一郎▲六・五〇(東)農家の時間▲六・五五公知事項、天氣見込▲七・〇〇(東)時報・ニュース▲七・二〇(城)朝鮮第二次綜合防空訓練講評 陸軍少將高橋坦▲七・三〇(東)奉祝音樂『祝典序曲』東京放送管絃樂團▲八・〇〇(東)軍事報道▲八・一〇(東)『見よ見よ朝日はのぼる』外日本放送合唱團▲引續き(東)講話『三笠宮殿下の御學徳』友田宜剛▲引續き(東)講談『慶の春駒』大島伯鶴▲引續き(東)長唄『鶴龜』吉住小三郎外▲九・二〇ニュース(城)氣象通報・天氣見込外▲一〇・〇〇(東)時報(城)今日のニュース

第二 〇・〇五弦琴散調(レコード)▲六・二〇ラジオアソビ『紅葉拾ひ』崔錦子▲六・三〇『朝鮮第二次綜合防空訓練講評』防空本部長大野綠一郎、(譯)田中德太郎▲七・三〇講演『朝鮮第二次綜合防空訓練講評』高橋坦(譯)放送係員▲七・四〇講演『日本茶の話』曹山泰次▲八・〇〇歌曲 李彩振▲八・二〇レコード▲八・三〇合唱 京城放送混聲合唱團▲八・五〇連續講談『所願成就』(三)崔山秋圃▲九・一五中等國語講座

歌はぬ勝利 (35)

山中峯太郎【作】 高木清【畫】

日本人的裁決(三)

かなり大勢のお客に、夕方までの長いあひだお接待のお手つだひをつゞけて、公子も、さすがに疲れを感じてしまひ、その夜の九時すぎ、床へ仰むけになるなり、

—うまいことしてるわ、お兄さまばかり。

と、手足を伸ばしたきり、寢ついてしまはうとした。

兄の馬は、この日の午後から急に思ひたつて、山中湖畔にある帝大の寮へ、カバン一つさげて、朗かに出かけて行つた。父が歸つてきたのですつかり安心し既に元氣づいて、母の許しを得ると、公子に、

『さあ、ヨツトだ。あそこの湖はうまいんだぜ』

そんなことを云つて、うらやましがらせた。凉しい高原の風に、輕快なヨットを走らせる、湖水の上のすばらしさを、公子は寢つくまへに、チラツと想ひ泛べた。

—お兄さまばかし、うまいことしてるわ。あたしは、なぜだかお母さまにねだつてみたり、甘えたりできないの、意地つぱりのせゐかしら。

—おミツだわ

と、公子は起きあがるなり、毛布を蹴とばして、蚊帳のそとへ出ながら、

『なに、どうしたの』

自分も叫びだした聲に頭が冴えて、障子をあけたまゝだつた緣がはへ、あわてゝ出て行つた。

『おいであそばして、お嬢さま』

下から呼ぶおミツの聲が、それきり聞えずに公子は、烈しく胸さわぎしながら、階段をすべらないやうに、氣をつけて下りて行つた。

階段の下り口に、おミツが浴衣寢まきのまゝ眞青な顏をして柱につかまつてゐるのを、公子は上から見るなり、階段の中途から聲をかけた。

『どうしたの、おミツ』

『……』

おミツは、片手で奧の方を指さして見せると、そのまゝ、ふるへながら立つてゐる。そばへ公子は下りて行くと、

『お云ひよ、どうしたの、何かあつたの』

『……』

おミツは、うなづいた。が、ま

夕刊
京城日報
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

獨裝甲部隊既に周邊工場地帶突入
カリーニン方面の部隊 赤都背後を衝く

ベルリン特電【十九日發】戰果は遂にモスコーを包んだ、今やドイツ裝甲部隊はモスコー周邊の工場地帶に突入し、ドイツ砲兵隊同市西端を射程距離内に置くに至り、更に百萬のドイツ軍は三方より同市を包圍してソ聯政治の中心地を麻痺狀態に陷れてゐる、偵察隊及び空軍の報告によれば既に同市は斷末魔の淵に臨んで今や必死の防衛手段を講じつゝあり、外郭地帶にはバリケード構築、地雷敷設に懸命の努力を傾けてゐるモスコー外郭防衛についてゐるソ聯軍正規軍の數は未だ判明しないが、同市周邊で戰ひつゝあるソ聯防衛軍は正規軍及び民間の混成軍となつてゐる點より見てモスコー市内の工場、商店等は既に放棄され戰鬪に從事したり壯健なる國民は總て戰線に緊急動員されてゐるものと推定される、砲兵隊の打ち出す炸裂彈及び空軍投下の爆彈はモスコー周邊に濛々たる火焰を起してゐる

ベルリン特電【十九日發】モスコー西北方面に進出せるドイツ軍機甲部隊は既にカリーニン攻略を了へたるドイツ軍部隊と連絡を完成、カリーニン方面の部隊はモスコー防禦赤軍部隊の背後を擊つと共にモスコー包圍大鐵環を連結すべく既に同市より東方少くとも八十キロの地點にまで進出、更に猛進擊を續けてゐる

ロンドン特電【十九日發】ドイツ軍はモジャイスク方面から正面攻擊に主力を置き徐ろに進攻してをり、之はモスコーに對する最大の脅威となつた、ドイツはこの正面攻擊と同時にカリーニン、オリヨール兩方面から大包圍の兩翼を擴げキエフに對して取つたと同樣の戰法でモスコーを去る約百六十キロ位の地點から首都の後方へと翼を伸ばしてこれを陷れる作戰に出てゐると思はれる、モスコーはレニングラードと異なり自然的障碍なくカリーニンから半圓を描いて南下、オリヨールに至る前線中の何處かでドイツ軍が防禦を破ればモスコー市の一點突入は成功するものと見られる、從つてドイツ軍が何處でソ聯軍の防禦線を破るかが今後のモスコー攻略戰の山と見られてゐる

モスコー周邊戒嚴令

【ロンドン十九日同盟】獨軍の赤都包圍殲滅によつて同方面の事態はいよいよ最後の場面に到達しつゝあるが十九日當地で傍受したソ聯放送によれば聯邦國防委員會は廿日よりモスコーおよび接續地區を戒嚴令下におく旨發表した

赤都死守せよ
スターリン首相悲壯な布告

ストックホルム特電【十九日發】スターリンソ聯首相は十九日ドイツ軍が愈よモスコー近傍まで迫り首都が未曾有の危機に當面したのに對しモスコー全市民に布告を發しモスコー市民はすべからく冷靜を持し全力を擧げて赤軍を援助せよ赤軍は最後までモスコー防衛に死力を盡すであらうとの戒告を與へた

皇后陛下行啓
廿三日靖國神社へ

【東京電話】皇后陛下には去る十八日靖國神社行啓の御豫定を御都合により御取止めあそばされたが、臨時大祭第三日の廿三日午前十時宮城御出門、同神社へ行啓あらせられる旨廿日仰出された

獨軍露都防禦線を突破進擊

【ロンドン十九日同盟】當地で傍受したモスコー放送は獨軍がモスコー前面のソ聯防禦線に新たに楔を入れ進擊中であることを認めてゐるが、一方カリーニン方面の赤軍は大反擊戰に出るとゝもにシベリヤ、外蒙などから增援部隊を得てモジャイスク（モスコー西南九十キロ）方面で奮戰してゐると報じてゐる

ソ聯モジャイスク陷落確認

【モスコー十九日同盟】ソ聯情報局は十九日午後の發表においてドイツ軍が遂にモジャイスク（モスコー西南九十キロ）およびマロヤロスラヴエッツ（同百キロ）の兩地に到達した旨確認した、右はドイツ軍のモスコー進擊地點としてソ聯當局が認めたうち最も赤都に近いものである

オデッサ、羅國領に併合

【ブカレスト十九日同盟】ルーマニア軍司令部十九日發表によればアントネスコ、ルーマニア首相は十六日陷落せるオデッサをドニエストル河東部の占領地區に設けられたルーマニア領新行政區トランス・ドニエストリヤ地方に併合しこれを右地方の首府に指定する旨の命令を發した

獨戰車二萬臺
風雪を衝き怒濤の進擊

ロンドン特電【十九日發】十九日附デーリーテレグラフ紙ストックホルム電によればドイツ軍は十八日愈よモスコー三回目の總攻擊を開始せるものゝ如くカリーニン、オリヨール間に集結中のドイツ機甲部隊四個軍團戰車總數一萬五千乃至二萬台は折柄の風雪を衝いて怒濤の進擊を開始し續々モスコー攻擊についたといはれる

在アフガン獨伊人引揚げか
英ソの要求で

【ペシャワル（インド）十九日同盟】英ソ兩國政府はかねてアフガニスタン政府に對しアフガン在留獨伊兩國人の國外退去方につきイランよりアフガンに引上げたドイツ、イタリー人の引渡しを要求してゐるが十九日カブール放送局はドイツ、イタリー國人はつひに引揚げることになつたと放送してゐる右報道により英、ソ兩國のアフガニスタン政府に對する壓迫はイランの場合と同樣相當強硬だつたと察せられる

【ロンドン十九日同盟】獨伊兩國人のアフガニスタン引揚げについては當地には未だ確報はないが、英國政府がアフガン政府に右に關する要求を出した事實は當局筋もこれを肯定、十九日つぎの通り言明した

英國政府の要求は全く友好的なものである、ドイツ人のアフガン在留は英國のみならずアフガン自身にも脅威である

建川大使一行クイビシェフへ
外務省へ公電到着す

【東京電話】ドイツ軍猛進擊の前にソ聯政府はすでに都落ちをはじめアメリカ方面のラジオ放送によると同政府は被占領地域のゲリラ戰指導のため一部をモスコーに殘し外務人民委員部關係はクイビシェフその他はコーカサスのチフリスに分散移轉したと傳へられる、去る十五日夜半モスコー撤退の勸告をうけ引揚の訓電に接した帝國大使館の建川大使以下の一行は十六日午前四時半カザン驛を出發しその行先を案ぜられてゐたが、十七日午前八時モスコーとクイビシェフの中間シャソーボ驛から列車中の建川大使が發した公電が十九日外務省に到着した、それによると「大使一行は外交團とゝもにクイビシェフに向ふ、一同元氣」とありソ聯政府の一部がクイビシェフに移轉したことが明らかとなつた

ソ聯の經濟抗戰力
金原賢之助

尖兵

レニングラードを包圍してゐた獨軍は、ヒトラーの久方振りの演說をきつかけに總攻擊を開始し、モスコーの包圍も切迫して來たものゝ如くである。又南部戰線ではロストフの攻略も數日を出でずして完了する模樣である。獨軍は歐ソを斜に橫切る一千二百キロに亘る全線を一齊に進出したといふから、北はレニングラードからモスコーを經て、ドン河を南にアゾフ海に下る線まで占領するのは、さう多くの日數を要さぬであらう。

さうなれば、レニングラード及びモスコーの陷落自體はさまで問題でない。要塞都市であるならば、相當時日守り得るのが當然で、獨軍は今まで通りなるべく犧牲を拂はずに攻略する方法を講ずるであらう。しかし何れにしても、歐ソの主要部分は、獨軍の支配下に入るわけであるが、その後において獨ソ戰は如何に展開するであらうか。

私は前に本欄において、獨ソ戰は膠着したやうに見えるが、しかし西部戰線と變らぬスピードで進展してゐるから、ドン河線までは比較的早く到達するであらうと述べ、ヴオルガ河線まで進出するのは、何時であらうかと若干の疑問を提出しておいた。

ところが、十一月に入れば、ソ聯の待つた本格的な「冬將軍」が到來するのであるから、獨軍もそれ以上の進出は困難となるであらう、がしかし、南部殊にコーカサスは氣候の點では依然作戰が可能であると思はれる又石油資源を獲得する上からいつても、當然コーカサス作戰は繼續されざるを得ないであらう

そこで問題は、ソ聯が歐ソの主要部分とコーカサスを失つた場合に、獨ソ戰はどうなるかといふことである。

◇

獨當局の見解によると、赤軍が戰前の勢力を回復するのには十年を要するであらうと、ソ聯が三次に亘る五ケ年計畫で今日に至つたことを想へば、さうした見解も成立つかも知れない。それに對して、ソ聯がウラル以東にはなほ相當の工業資源と、若干の工業力と十分な食糧資源とを考へると、ソ聯の經濟抗戰力を相當高く評價する意見も出るであらう。

しかし、その場合でも、經濟的條件が非常に跛行的となるし又組織の力も弱まると思はれるのであるから、經濟的に見たソ聯の戰爭能力は、一時著るしい低下を免れないのではないかと考へられる。從つてこれを急速に回復するのには、米英の援助に俟つの外はないのであるが、この外國援助にもさし當つては限度がある。故にソ聯自身の經濟的戰爭は、當分獨逸の歐洲新秩序の建設を著るしく妨げるほどではなくなるのではないかと思はれる。尤もこの推論は、赤軍がどんな傷手を蒙つて退縮するか、又獨逸が占領地の治安と經濟を如何に回復し得るかによつて、當然變るものといはねばならない。

ソ聯軍に蒙古軍ら增援

モスコー特電【十九日發】モスコーのラジオ放送は十九日シベリヤと蒙古方面より有力なる增援軍が中部戰線に續々到着、このため同方面の赤軍の勢力は漸次增強されてゐる旨傳へてゐる

獨軍、タガンログ港を占領

【ベルリン十九日同盟】ドイツ軍司令部はアゾフ海沿岸のタガンログ港を激戰の後占領したと十九日發表した

【ベルリン十九日同盟】ドイツ軍司令部十九日正午發表＝

一、ドイツ軍はアゾフ海とドネッツ河との間の地域に於て抵抗を續けてゐるソ聯軍を追擊中である

一、ドイツ軍はアゾフ海沿岸タガンログにおいて市街戰を展開してゐる

一、ドイツ空軍はクリミヤ半島のソ聯空軍基地を爆擊した

一、ドイツ空軍はイギリス本土東南部の沿岸諸港を爆擊各所に火災を生ぜしめた

スターリン政權歐露から驅逐
遷都後長期戰へ移行せん
外交通觀測

【東京電話】ドイツ軍の總攻擊は今やモスコーに集中され、ドイツの中央軍は刻一刻赤都モスコーへ肉薄をつづけ、今やモスコーの陷落は時日の問題と見られるに至つた、わが大使館もソ聯政府の勸告に基づき目下モスコーの東南千キロ餘のクイビシェフ（舊名サマラ）に向ひつゝあり、ソ聯政府も三ケ所に分散移轉した模樣だが、かくてドイツ軍の猛進の前には鐵壁を誇つた赤都モスコーもあへなく潰え去るのか、モスコー陷落せば赤色政權はどうなるか、さらにまたドイツ軍今後の攻勢はどうなるかこれらの問題について外交消息通の見解を訊く

ドイツの目標は赤色政權の潰滅にあるから現在第一の目標はモスコーの攻略にあるといへよう

モスコーを撤退するソ聯政府がどこへ行くかはまだ明瞭でないが、まづウラル地帶のスヴエルドロスク、カザン、クイビシェフ、チエリヤヴインスク、コーカサスのチフリス邊りの名があげられてゐる、しかし今のところ東首腦部およびスターリン自身はまだモスコーに留つて抗戰指揮に當つてゐるやうだ

現在の獨ソ戰の樣相は完全にスラヴ民族とゲルマン民族との根強い民族戰爭となつてゐる、故に赤色政府は容易に崩壞しないと見るのが一般の常識のやうだ、赤軍はすでに三百萬の犧牲を出し、レニングラード、モスコー、キエフなどの重要重工業地帶はすでに機能を停止してをり、ソ聯の寶庫といはれてゐるウクライナもほとんどドイツ軍の占領下に歸してをり、ソ聯抗戰力の六、七割はすでに失はれてゐると考へられる、しかし確實な情報によるとスターリン政府は重工業の六割はすでに安全なウラル地帶に移轉させてゐるといはれ、モスコーの尨大な飛行機製作工場等は完全に移轉してをり、殘りは全くがらん洞の建物ばかりになつてゐる有樣であるから歐露の資源を奪はれてもいまだウラル地帶の資源、シベリヤの無限な資源などがあり、これを活用しさらに英米より曲りなりにも援助があればまだまだ明春までの抗戰力がある、一方過去廿年のスターリン政權の徹底的な教育は全般的に國民の心にしみこんでをり、また今さらスターリン政權が崩壞しても、さて後がどうなるか全く希望も豫測もないやうな狀態である、それにまた古來スラヴ民族の特徴である非常な粘り強さと自然に支配されてゐる「どうでも良い主義」とで今更革命を起す氣分も少いのではないか、だからたとへ遷都してもスターリン政權が簡單に崩壞すると考へるのは早計であらう、しからばソ聯はどうするか、難かしい問題だが、一言にしていふと酷寒と廣大な地域を利用してパルチザン戰術に出てヴオルガの線を抵抗線として冬を越しドイツ軍の疲勞するのを待つであらう

次にドイツ側はどうするか、ドイツ軍はモスコーを中心としてレニングラード、キエフ、ハリコフの線を確保してまづ占領地の治安を確保し冬越をするであらう、勿論第一線はウオルガ河の進攻線迄進出して歐露からスターリン政權を完全に驅逐することに止めるであらうし、また全戰線の兵力の餘力をもつてまづコーカサス制壓に向ふであらう、コーカサスはソ聯石油の寶庫であり、南コーカサスは山岳地帶で作戰は非常に困難であるが、北部コーカサスを押へ中央部との間を遮斷することによつてその目的を達することが出來る、さらに進んでイラン、イラク、シリヤのいはゆる近東方面から北阿へまで戰線を擴大することも考へられるが、この方面はなんといつても現在イギリスの勢力が強いし距離も非常に遠いので、さう簡單には手が出ないと見るのが至當であらう、いづれにしても、獨ソ戰はモスコーが陷落しても簡單には片つかず、かへつて複雜さはまる長期戰の樣相を呈して來るので、これが世界の情勢に、特に極東の情勢に非常な影響を與へることは注目しなければならない

新警視總監に留岡地方局長
警保局長に今松氏起用

【東京電話】東條兼任内相は十九日伊勢神宮新任奉告を終つて歸京するや直ちに湯澤次官と山崎警視總監および橋本警保局長の辭任に伴ふ後任につき愼重協議を重ねたが、時局下國内治安の確保は新たなる内務首腦部の急速整備を緊要とするのにかんがみ、新警視總監には留岡地方局長を、警保局長には今松和歌山縣知事をそれぞれ起用することに決定、さらにこれに伴ふ地方長官その他の異動を廿日の持廻り閣議で正式決定の上、上奏御裁可を仰ぎ同日左の如く發令した

任警視總監（一等）　地方局長　留岡幸男

任警保局長（二等）　和歌山縣知事　今松治郎

國土局長　成田一郎

任地方局長（一等）　鹿兒島縣知事　新居善太郎

任國土局長（一等）

內務異動

任鹿兒島縣知事　群馬縣知事（一等）　潮田美朝

任群馬縣知事　警保局保安課長（二等）　村田五郎

任和歌山縣知事　警視廳警務部長（二等）　廣瀨永造

任警視廳特高部長（二等）　永野若松

任警保局保安課長（二等）　大阪府警察部長　齋藤昇

任警視廳警務部長（二等）

依願免本官（各通）　警視總監　山崎巖　警保局長　橋本清吉

新舊商相事務引繼

【東京電話】岸新商相と左近司前商相との事務引繼は廿日午前十一時から商工省大臣室で行はれた、定刻十分前の十時半モーニング姿の左近司さんはけふが最後の大臣室に三ケ月間の感慨も深げに入り、机の整理をして待ちうけるうち十一時かつきり長身の新商相が颯爽と現はれた、六十二歲の左近司さんは十七も歲の違ふ岸さんを親み深さうに出迎へて『あなたなら安心して御譲り出來る、何分の御奮闘を祈ります』と和氣藹々裡に廿五分間で引繼を終り直ちに會議室で高等官以上の職員に離別の挨拶を行つた、なほ大藏省の賀屋新藏相と小倉前藏相の事務引繼は午後二時から行はれる

政府統帥府の連絡懇談會存置
内閣四長官會議も踏襲

【東京電話】未曾有の緊迫せる國際情勢の中に東條新内閣は支那事變の處理と東亞共榮圈建設の國策遂行のためにこの國策を推進するために必要な國防國家態勢の確立を負荷されたる使命として出發したがこれらの國策を實行するための諸方策はすでに近衞内閣によつて決定されてゐるのでこれを急速果敢に實行に移して行く方針をとつてゐる、しかして國防國家態勢を急速圓滑に確立整備するためには行政機構の根本的改革も考慮されてゐるが、支那事變處理及び東亞共榮圈建設の國策の推進については政戰兩略の一體化が絕對の要件となるので第二次近衞内閣によつて開始せられた政府及び統帥府の連絡懇談會はこれを存置して統帥部首腦部と東條首相兼内、陸相、嶋田海相、東鄕外相のメンバーにより國策遂行の具體方策を協議せられることにならう

また事務的處理については鈴木國務大臣兼企畫院總裁、星野書記官長、森山法制局長官、谷情報局總裁などがこれまた第二次近衞内閣當時に創始された内閣四長官會議の形式を踏襲して各省との間に緊密な連絡を保ちつゝ首相ブレーンの一要素としての機能を發揮するであらう

＝人＝

◇寒松友光氏（南軍軍役）廿日『あかつき』で歸城

◇石浦龍輔氏（同）同上

◇三橋警務局長　母堂死去のため歸鄕中、二十七日歸任に豫定を變更

時の錄音

東條首相初め新閣僚の語る抱負に何等の新味なきも、その烈々たる意氣を買ふべし。

×

あとはこの緊急非常時に對處して、たゞ實行あるのみ。

×

新內閣成立の海外反響、樂悲兩樣の觀測。

×

樞軸側の好感は當然ながら、英米側の狼狽振りは自ら肚のすわらざるを暴露せるもの。

×

赤都の命愈よ旦夕にせまる。スターリン果して何處へ行く。東亞も無關心ではゐられぬ。

×

防訓第九日に入つて、愈よ敵機の空襲頻り、恐れず、騒がず空を守れ。

獨快速部隊、惡路を冒して赤都に肉薄＝【電送】

空の玄關護れよ半島！
防空訓練第九日

名物の賭博も禁止
各方面に逞しき足跡
あす廣東入城三周年記念日

【廣東廿日同盟】皇軍の入城三周年記念日をあすに迎へる廣東は東亞共榮圈の一環として政治、經濟、文化の各方面にわたり力強い建設の歩みを續けてゐるがその躍進ぶりは次の通りである

政治、軍事　昨年十一月陳耀祖の省政府主席就任とともに政府の基礎も確立し、政治は本格的軌道に乘るに至り、本年四月官吏訓練所を開設して官吏訓練工作の完璧を期するなど數々の見るべき業績をあげてゐる、また最近では綏靖公署内に第廿師および第卅師よりなる有力な正規軍を包含し晝夜不斷の猛訓練をつゞけつゝあり目下養成中の青少年軍隊教育完了とともに新生中國々軍の一戰力として將來の期待がかけられてゐる

治安警察　日本側軍當局と緊密な連繫のもとに警察組織の擴充強化が行はれ數千の警察隊員ならびに各縣の保衛隊は正規軍と協力、いづれも省内の治安確保に任じ、去る五月一日から一齊に廣東名物の賭博を禁止し、これら賭博場は今はいづれも小綺麗な飲食店に變つてゐる

財政　昨年五月省政府成立當初は毎月の收入五十萬元程度に過ぎなかつたが、本年一月以降は三百餘萬元から四百萬元を突破、去る七月一日からは從來各縣に實施されて來た物資通過稅を撤廢して地方商民の福利增進をはかり、省財政確立の一端を示した

商工業　攻略後軍管理下に日本側會社へ委託經營となつてゐた省、市營の電氣、水道、紡績、製糸、ビール、セメント、砂糖、肥料、硫酸曹達の九工場を昨年十月中國側に返還して南支近代工業を再出發をせしめたほか日華合辦會社として華南煙草公司、廣州製糸工場、廣州製糸、小規模工場、ゴム工場などが設立され、また中小商工業方面も繁榮し、廣州市商會發表によれば昨年末までに復活した商店數は一萬一千餘に上り、引續き增加の傾向にある

貿易、金融　本年一、二月の貿易額合計は千七百四十六萬五千元（輸出千九十二萬一千元輸入六百五十四萬四千元）で廣東陷落の翌年たる昭和十四年の同期に比して約三倍、珠江開放直前たる昭和十五年同期に比し約三・二倍といふ驚異的躍進ぶりを示してゐる、輸入品および移入品の主なるものは米、綿糸布、雜貨、煙草、鹽、乾魚、落花生、大豆などで貿易先は北中支、台灣、內地の順序となつてゐる、輸移出品は生糸、屑糸を主としてゐる、また省政府成立以來金融機關の復活も目覺しく昨年十一月復業した廣東省銀行をはじめとし公認の錢莊、兩替店は約三百に上る繁榮ぶりで、さらに本年五月末よりこれら錢莊、兩替店により廣州銀業交易所が組織開設され、各種貨幣ならびに證券市價の安定をはかり、金融の調整に協力してゐる

文化教育　文化教育機關としては省扶助會、駐日文化協會、廣州文化會、教育宣傳處、省立圖書館、市立圖書館、省立民衆教育館、廣州省體育委員會、私立民衆教育館などがあり、學校には省立廣東大學が昨年九月設立したほか、省立中學三、職業學校一、女子師範一、市立中學二、小學校八十餘校があり、私立には女子美術學校、執信中學および卅餘の小學校がある

夢破る空襲警報

敵機各所に爆彈投下 自若たり總動員の鐵壁陣

綜合防訓 第九日目

第二次防訓際切れを明日に控へて全鮮各地の對空防衛戰士は極度に緊張して廿日を迎へた、突如午前六時廿分秋冷の曉靜を衝いて京城地區一帶に空襲警報が發せられたが同五十五分解除これを皮切りに北鮮地區一帶に午前九時八分、釜山を初め南鮮地區に同十時十四分、京城を初め中鮮地區一帶に同十時廿三分咸南地區に同十時四十五分、日本海一帶に同十一時五分それ〴〵空襲警報が發せられた

元山方面には午前八時四十分大型四機(假想)が潜入空爆を敢行一路南下して京城に突入多數の爆彈、燒夷彈を落下、連日の敵襲に自信を得た府民は愛國班警防團を擧げて防衛に挺身、つひに敵機を驅退した

敵機はなほも執拗に半島を狙つてをり夜間空襲が豫想されるので防衛戰士は極度の緊張を以て待機されたい

固き備へに莞爾

總督、總監『軍防空本部』を訪問

防訓第九日目を迎へて訓練演習はいよ〳〵眞剣さを加へて全府民が防衛に緊張の中を廿日午前十時廿分ごろ南總督は大野政務總監、總督府各局長並に鈴川京畿道知事、矢野府尹を帶同、軍防空本部に姿を現したが、直ちに高橋參謀長、山崎參謀よりそれ〴〵約半時間に亘つて半島全土の防空狀況に實際的活動狀況を具に聽取〝我に備へあり〟に一入意を深くして同十一時ごろ引揚げた【寫眞=軍防空本部を訪れた南總督と大野政務總監】

警防團の觀閲式

あす光化門通で擧行

第二次全鮮綜合防空訓練は明廿一日をもつて十日間に亘る猛訓練の幕を閉ぢるが京畿道では訓練終了後の廿一日午後二時から京城府内の各警防團を光化門通に集め訓練の最後を飾るにふさはしい觀閲式を擧行することになつた

この觀閲式には鈴川知事が觀閲官となり、午後一時卅分までに各警防團は光化門通から太平通に至る道路に整列して觀閲式の隊形を整へ人員報告ののち觀閲式に移る

觀閲式を終り次第各團は直ちに分列式隊形に移り本町、鐘路、東大門、西大門、龍山、永登浦各警防團の順に光化門通電車軌道西側を斷定にて總督府前を迂回し分列發起點に至り分列式を終了する

三▽馬利用—同新關三郎▽馬政及び馬の飼養管理—本府技師遊佐憲雄▽獸醫學—野瀬治▽選外國軍中佐中田三郎

靖國神社臨時大祭

第五日の儀

【東京電話】九段靖國神社に一億の感激をもつて執り行はれた靖國神社臨時大祭は明日直會の儀をもつて六日間にわたる祭儀を終へるが、これに先だち二十日第五日の儀は午前七時から本殿において執行、定刻陸海軍兩祭官、鈴木宮司以下神官本殿に參進、着床、御扉を開き獻饌、供饌、宮司の祝詞、祭官の玉串奉奠以下定めの如くあつて引續き遺族の昇殿參拜あり、この日の儀を終つたが寂寞る靖國の庭は秋陽に映え秋色いよ〳〵濃く名殘りを惜む遺族市民の參拜終日ひきも切らず新祭神との瞬の對面に淚をぬらした、同遺族は午後六時上野驛發の岩手班をトップに東京驛、新宿驛からそれ〴〵廿一、二兩日にわたつて續々と歸郷する

中央本部に引續いて盛大に發會式擧行

朝鮮臨戰報國團慶南支部

【釜山電話】物心兩面に亘つてあらん限りの力を注ぎ銃後奉公に一層の徹底をはかつて忠烈な將兵の奮鬪に應へ皇恩の萬分の一にも報いるため過般在城半島有志を網羅して生れた朝鮮臨戰報國團では、慶南支部設置のため同團準備委員申興雨、李晟煥の兩氏が十九日朝來釜、午後一時から鐵道ホテルで在釜半島有志金東準氏ほか十餘名と支部設置に關する懇談會を開き半島皇國に報ずるを誓ひ、慶南支部設置準備、支部發會式等に關し協議を遂げ、兩氏は午後六時五十分發特急〝ひかり〟で歸城した、なほ廿二日京城で中央本部發會式擧行後、慶南支部發會式を擧行する豫定である

鑿岩工養成所 實習生を募集

京城弘濟町總督府鑿岩工養成所第十一期實習生五十名を左の要領で募集する、十八歳以上卅五歳以下の男子で修了後就職せんとする鑛山の推薦ある者、願書締切十一月十日、修業期間四ケ月

安かれ軍馬の芳魂

廿四日盛大な慰靈祭

大陸の戰線に赫々の戰功を樹て、皇軍將兵陰の戰士として物言はぬまゝ勇士に劣らぬ勳しを遺して今次聖戰に華と散つた出征軍馬に哀悼感謝の情も新に芳魂を慰める軍馬慰靈祭は廿四日全國的に擧行されるが朝鮮では同日午前十時から京城黄金町五訓練院府民會場で總力聯盟、朝鮮軍馬協會共同主催で祭壇には郷土部隊とゝもに北支戰線を馳驅して勇士の身代りとなり、或は偵騎に、斥候に、騎砲に、砲車、輜重、朝鮮軍、總督府後援の下に各系聯合々同による佛式で嚴かに執り行はれる

この日會場中央祭引に多大の戰果を齎し遂に大陸の土と化した軍馬の芳魂を祀り南總督、板垣軍司令官はじめ軍官民馬事關係者多數參列して盛大に執り行ひ軍馬に感謝の誠を捧げ更に半島馬事思想昂揚に拍車をかけることとなつてゐる、當日は會場の一角に功勞馬多數を繋留して參會者の觀覽に供することとなつてゐる

なほこの軍馬慰靈祭を記念して廿三、廿四日の兩日に亘つて川岸總長、近江軍獸醫部長、本府油井畜產課長のラジオ放送、國民學校に愛馬讀本を贈つて第二の國民に軍馬の知識を注ぎ込み、廿三日午後七時から九時まで鐘路パゴダ公園で軍馬に關する野外映畫會を上映、廿四日は同時刻三越裏廣場で同様映畫會を、また軍報道部主催の出戰勇士の軍馬座談會の開催、府内各商店の軍馬の飾窓など全鮮に馬事思想普及の一大運動を捲き起こすはずである

外事警察取締陣を強化

外事警察の取締強化と防諜陣營整備のため總督府では廿日附をもつて外事警察官警部三、警部補十二を增員、また咸北警備船に技手三、消防署に警部一、警部補一をそれ〴〵增員、なほ消防署は配屬濟みである

ブロマイドを賣つて獻金

東京淺草でお馴染のチェリー・バンド一行は第一線で奮鬪する兵隊さんを慰めませう——と各地で興行中に各自のブロマイドを賣つて得た利益金を獻金箱に納めてゐたが、この程六百三圓四十七錢に達したので去る十七日代表京極榮子さんほか十一名が打ち揃つて軍愛國部を訪れ獻金を申出で係官を感激させた

年末輸送協議

釜鐵の打合會

【釜山電話】關釜間年末年始最繁忙期の內鮮支旅客、鐵道小手荷物連絡輸送會議は滿鐵主催の下に十一月上旬奉天で開催の豫定であるが、釜山地方鐵道局ではこれが下打合のため來る廿三日から三日間同局會議室で管內打合會を開き連絡基地としての提案その他について具體的協議を行ふことになつた

中滿の資源を調査

咸中線促進へ 期成會の斷

【咸興電話】時局の進展と共に日本海における中心的大陸ルートとしての咸中鐵道及びその終端港灣建設促進はいよ〳〵重要性を帶びるに至つたが、咸中鐵道促進期成會ではさらにその運動を強化すべく中滿地方における資源調査を斷行することゝなつた、即ち同線の促進運動においてその基幹となるべき沿線及び背後資源の調査が極めて不徹底であるばかりでなく、殊に對岸臨江、通化方面における資源の調査は全然未着手のまゝ放置されてゐる現状なのでこれを具體的に視察調査しこれに基づいて咸中線に對する各方面の認識を是正しようといふもので、近くその調査上の具體案をねる豫定である

春川に初氷

春川地方は十八日夜來氣溫急低下し十九日朝は寒々と深い霜があり今年初めての厚氷が張つた

平北奥地に猛吹雪

【平壤電話】平北中江鎭地方には十七日夜半ごろから暴風雨が訪れ深更とゝもに猛吹雪と變つて附近一帶は六寸から尺餘の積雪があつたが、このため慈城—中江鎭間の通信線は相當の被害を被つたが、平壤地方遞信局では全力をあげて復舊作業に努めた結果、間もなく復舊の見込み

晃永丸遭難か

【光州電話】在釜山西日本汽船會社所屬晃永丸(一九九トン)は去る十八日午後一時ごろ濟州島から麗水に向つて出帆したまゝ消息を絶つてしまつたので全南道警察部では沿岸船舶を動員極力捜査中であるが、廿日朝に至つても未だ船影を發見せず憂慮されてゐる

樺島益二氏

(松本組常務取締役兼技師長)豫て胃潰瘍にて九大へ入院加療中のところ十九日午後一時半死去、享年六十四、葬儀未定

防訓中に驛手殉職

京城驛勤務の福島さん

實戰さながらの京城驛の防空演習は遂に尊き殉職者を出した、京城西小門踏切に立番中の驛手福島金作氏(三七)は旬日に亘る猛訓練にも怯げず勤務についてゐたが、廿日午前六時訓練中の暗夜を疾走して來た新義州發龍山行第一二二六號貨物列車に接觸頭部を強打して即死した

福島氏は靜岡縣安倍郡服織村出身大正十年以來今日まで廿年間京城驛手として勤務、鐵道精神を固く守り、十年一日の如く精勤恪勤してその殉職は全職員に惜しまれてゐる

義州通鐵道官舍の家庭は夫人は數年前死亡、祖母テツさん(七七)他二男一女がある【寫眞=殉職した福島さん】

驛葬で弔ふ

鐵道精神の華と散つた福島金作驛手の死は時節柄各方面から悼まれてゐるが京城驛では津田驛長が葬儀委員長となり廿一日午後一時から府内和泉町鐵道俱樂部で京城驛葬をもつて執行、福島氏の殉職を厚く飾ることになつた

廿日朝の氣象概況

優勢な低氣壓は北海太の東海上にあり、高氣壓は蒙古東部に七七二粍、黄海に七六六粍を示し朝鮮及び西日本に據つてゐる、鮮内及び北支那一帶に天氣は良い、內地も概ね晴れたが九州西部と北海道は曇りがちである、鮮內の氣溫は例年に比し北鮮は二度內外高いがその他は二度乃至五度低い

京城地方【今晩、明日】晴れ一時曇り

仁川地方【今晩】南西の風晴れ時々曇り【明日】西の風稍や強く晴れ時々曇り

決死、時艱克服へ

在城鄕軍 明後日祈願大會

ひし〳〵と迫る時局の緊迫化に決死報國の誠を固める秋、京城支部管下の全在鄕軍人は時艱突破の意氣も高く廿三日午前八時卅分から朝鮮神宮參道廣場に參集、時艱克服完遂祈願大會を擧行、鄕軍魂を昂揚することになつた

宿願の多角漁業へ

狙ふは二鳥 冷凍明太

【淸津電話】名實共に水產王國の名を發揮すべき咸北沿岸の鰮一本槍漁業から多角經營への移行は兩三年前から漁業者關心の的となつてゐたが、この問題は鰮漁に多角經營論も一時その影を潜めてゐたところ、たま〳〵本年の上り鰮漁不漁から鰮一本槍を訂正し多角經營論が眞劍な叫びとなつて強調されてゐる時、咸北の海から多量の水揚げを見る明太を咸北特產冷凍明太として鰮と同樣廣く世に問ひ同時に食糧確保の一石二鳥を狙つて咸北水產加工品株式會社(假稱、資本金十九萬五千圓)を鰮第一區漁業組合の傍系會社として誕生することとなり、來る十一月二日これが創立總會を開催する運びとなつた由來淸津を中心として咸北沿岸から水揚げを見る多量の明太は漁夫から手な副業のため一部に顧みられずたゞ半島人の食膳に供せられるのみで、この間中間業者が搾取を恣にしてゐる實情にあるので、同社はこれ等の惡條件を一切克服し鰮と相並んで咸北產冷凍明太として友邦滿洲國はもとより各方面に積極的出荷するはずで、これが漁業の曉は咸北は更に冷凍明太魚が一枚加つて業者年來の宿願である漁業多角經營も愈よその緒につく譯である

男度胸の活躍

實戰調に搖がぬ護り

午前十時卅分——未だ淡い殘月ののこる秋空に敵機影がポツカリとうかびあがつた、間髪を容れず緊急警報の鐘の音が全府内に鳴りひびいて百萬府民が結束する防衛陣は逞しいスクラムを組む——執拗な敵機は各所に火災をひき起し「おう——」と叫んで應へるほど弓の弦のやうに意氣を充たせた警防團がエッサ〳〵の聲も雄々しく駈けつけ、黒煙の中にいなせな刺子姿をひたらせて男度胸の活躍を續ける

これは訓練第九日城東明倫町、惠化町地區で行はれた實戰想定の綜合演習——この機敏な警防團の動きこそ〝江戶の華〟と謳はれて男一匹を誇つたいろは四十八組をけふに生かして科學化した姿だ【寫眞=惠化町の火災演習】

防空に起つ 5

馬技術員講習會

總督府では半島の馬產振興を促進するため十一月四日から五日間朝鮮競馬俱樂部で各道の馬事關係技術員を集めて馬技術員講習會を開催するが、講習科目、講師は次の通り

馬の繁殖—牛野馬政局技師

地上部隊の猛砲火に 敵機忽ち潰走

【朝鮮軍司令部發表】防空訓練第九日の廿日早朝より敵機の襲來は益々熾烈を加へ、全半島の地上部隊は一齊に砲火を浴せ緊密なる國民防空陣と相俟つてこれを擊退したが、執拗なる敵は機を狙つて京城地區潜入を企圖しつゝある模樣である、即ち午前六時廿分快晴に乘じ北鮮方面より九機編隊をもち、また黄海方面から平壤を經て三機編隊をもつて相前後して京城地區に潜入せるも激鬪よく擊退、北鮮方面へ遁走、主要都市を選んで、一方日本海方面から潜入の敵十八機編隊は南鮮地區を襲つて北上、楊平、泥池岩、龍仁、議政府を經て目下京城地區へ猛進中である(午前十一時廿分現在)

空襲警報發令狀況

なほ全鮮の空襲警報發令狀況次の如し

▲京城地區 午前六時廿分空襲警報發令同廿五分解除

▲元山地區 午前九時八分發令目下發令中

▲羅津地區 午前九時廿分發令同十時卅四分解除

▲平壤地區 午前九時卅分發令目下發令中

▲咸興地區 午前九時四十分發令目下發令中

▲釜山地區 午前十時十四分發令

▲□□地區 午前十時卅四分發令目下發令中

防空訓練の綜合講評

大野總本部長 DKから放送

大野防空總本部長は去る十二日から十日間に亘つて展開された綜合防空訓練に際し全鮮半島に完璧の防空陣を布き總備の固めへで起ち上つた全鮮愛國班員の眞摯敢鬪振りについて廿一日午後六時半からDKのマイクを通して約廿分間に亘つて綜合講評を行ふ